

科目名	社会的養護 1 (保育士必修)		
授業形態	講義	学年	1
開講時期	2023 年度 前期	単位数	2
担当教員	佐々木 誠二		
内容および計画	<p>【授業の目的】 社会的養護の基礎原理及び社会的養護下における子どもの現状、児童福祉施設の役割を学び、養護を必要とする子どもの自立支援のための基礎知識を身につけていくことを目的とします。</p> <p>【授業方法】 本講義では主にパワーポイントでの資料提示を行いながら講義形式で進めます。</p>		
1	ガイダンス 講義の趣旨説明及びスケジュールの確認を行います。		
2	社会的養護の理念と概念 社会的養護の概念およびその理念と原理について学びます。		
3	社会的養護の歴史の変遷 欧米における社会的養護の歴史と我が国における社会的養護の歴史を学びます。		
4	子どもの人権擁護と社会的養護 社会的養護における子どもの人権擁護のとらえ方や今日の児童福祉法の施策について学びます。		
5	社会的養護の基本原則 家庭養育優先原則の根拠となる法律や条約等について学びます。		
6	社会的養護における保育士等の倫理と責務 「倫理」について考え、社会的養護にかかわる専門職の倫理と責務について学びます。		
7	社会的養護の制度と法体系 「措置制度」とその背景原理、児童福祉法の概要について学び、日本の社会的養護の制度と法体系について学びます。		
8	社会的養護のしくみと実施体系 児童相談所から社会的養護の施設や里親家庭に至るまでのソーシャルワーク過程、社会的養護の施設等の目的と概要、今後の課題について学びます。		
9	社会的養護とファミリーソーシャルワーク ファミリーソーシャルワークについて基本的な視点や考えを確認し、社会的養護におけるソーシャルワークの考え方がどのように展開されるのか学びます。		
10	社会的養護の対象と支援のあり方 予防的支援、在宅措置、代替養育を必要とする子どもたちや家庭がどのようなニーズを抱えているか学びます。		
11	家庭的養護と施設養護 社会的養護施策の動向や里親とファミリーホームといった家庭養護と施設養護の現状と課題、家庭養護と施設養護の共通点と相違点を学びます。		
12	社会的養護に関する社会的状況／社会的養護にかかわる専門職 社会的養護で暮らす子どもたちの背景やその位置づけを学びます。また、社会的養護にかかわる専門職の専門性について学びます。		
13	施設等の運営の現状と課題／被措置児童等の虐待防止の現状と課題 施設等能遠泳に関わる内容や費用のしくみを学びます。また、被措置児童等の虐待とは何か、被措置児童等の虐待防止の経緯を学びます。		
14	社会的養護と地域福祉の現状と課題 地域福祉とは何かについて理解し、児童福祉施設の機能としての地域支援、地域貢献のあり方について学びます。		
15	全体のまとめと振り返り 本講義全体のまとめと振り返りを行う。併せて、定期試験もしくはレポート提出についての説明を行います。		
教科書			
	タイトル	著者名	出版社
			ISBN
			発行年

新基本保育シリーズ6 社会的養護1第2版	公益財団法人児童育成協会（監修） 相澤仁（編集）・林浩康（編集）	中央法規	9784805887899	2022

配布する講義資料をベースに授業を勧めます。テキストは講義内容の理解を深めるものに活用してもらいます。

参考書	『シリーズ・保育の基礎を学ぶ3 実践に活かす社会的養護1』（ミネルヴァ書房）
------------	--

成績評価	
評価方法	割合(%)
レポート	70
リアクションペーパー	30

リアクションペーパーは授業中に配布・回収を行います。

学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> (1) 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について理解できる。 (2) 子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解できる。 (3) 社会的養護の制度や実施体系等について理解できる。 (4) 社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について理解できる。 (5) 社会的養護の現状と課題について理解できる。
先修条件	特になし。
実務経験	実務経験あり：児童相談所，児童自立支援施設で勤務した経験をもとに、社会的養護の基礎について教授する。
その他	授業展開は予定です。授業の進度などにより、内容などが変更される場合があります。